

----- (はじまり) -----

タケシ「ふーん。言われてみるとそりゃそうだって、データかなあ？」

アスカ「なに、ブツブツ言ってるのよ」

タケシ「あっ、アスカさん、面白いデータ見つけたんですよ。東京消防庁の救急車の出動回数のデータなんですけどね、やっぱり年末って多いんですね」

アスカ「今ごろは忘年会に新年会とお酒の量も増えるし、もしかして、急性アルコール中毒とか？」

タケシ「ビンゴです！とにかく、アルコールも過度に摂取すると重症になるらしいですよ」

アスカ「ふーん。でも、重症って、どれくらいのことなの？」

タケシ「えっと、『生命の危険が強いと認められるもの』だそうです」

アスカ「ちょっと、見せてよ。ふーん、搬送された人は全部で14582人なんだ。そのうちの重症は…。運ばれた人の0.4%は重症かあ。250人に一人はもしかしたら死んじゃうってことね」

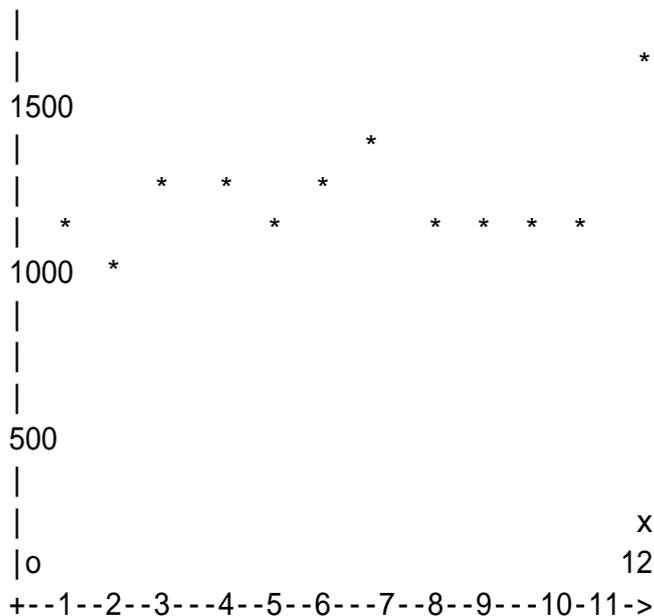
タケシ「恐ろしいことです。そういえば、お酒に弱い僕も新歓では飲まされました…。誰とは言わないけど…」

アスカ「ハハ、多少は飲めないとマズイでしょ。接待もあるしね。ところで、面白いデータもあるわね。1月から12月までの急性アルコール中毒での搬送人数が書かれてるわ」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男性	702	613	812	896	798	811	924	759	707	733	723	1167
女性	377	333	417	426	361	437	497	398	364	392	374	560
合計	1079	946	1229	1322	1159	1248	1421	1157	1071	1125	1097	1727

アスカ「ほら、タケシくん。マーケティング部でしょ。分析するには、次に何をしたい？」

タケシ「えっ？あ、グ、グラフにでもしてみようかなあ。合計を…」



アスカ「まあまあ、正解よ。グラフにするのは分析の基本中の基本ね。12月って、ダントツに多いのが分かるわね」

タケシ「そ、そうですか。じゃあ、男女のグラフも書いてみます！」

アスカ「調子に乗らないの！それよりも、月によって、急性アルコール中毒の搬送数に違いがあるってことを統計的に示してみたくない？」

タケシ「えっ、示してみたいですけど、でも、どうするんですか？」

*

アスカ「基本的な考え方なんだけど、毎月が同じ搬送数だと仮定して、それとの現実の搬送数との差を考えればいいわけよ」

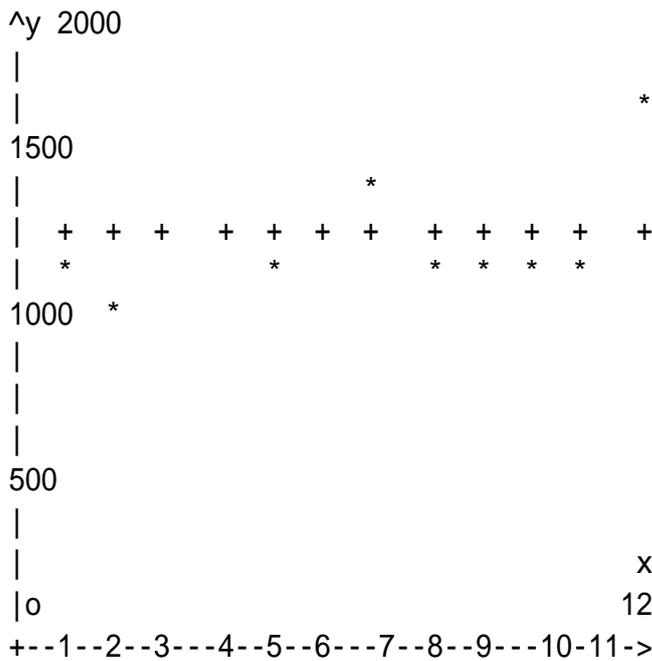
タケシ「毎月が同じ数っていうことは、全搬送数を12で割ればいいんですか？」

アスカ「そう。やってみて」

タケシ「えっと、全合計が14581だから、12で割ると1215.08。1215に切り捨てて12個並べると…」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
現実	1079	946	1229	1322	1159	1248	1421	1157	1071	1125	1097	1727
仮定	1215	1215	1215	1215	1215	1215	1215	1215	1215	1215	1215	1215

アスカ「今度は両方を一緒にグラフで示すと、次のようになるわね」



タケシ「+が搬送数が均等だとした場合で、*が現実の数ですね！何だか同じような同じでないような…。確かに12月が多いけど、2月は少ないですね…。差があると言えはるけど、ないと言えはるない…」

アスカ「もう、はっきりしないわね。要はこの差を統計的に検定するわけ。詳しいことは忙しいから飛ばすけど、電卓で計算すると…」

アスカ「検定統計量は376.486。有意水準を5%として、搬送者数は均等とする一様分布には適合しないってことになる。まあ、要は月によって違いがあるってことが、統計的にも言えるってことよ」

タケシ「へえー！計算過程は分からないですけど、目で見ただけだと説得力ないし、明確に言えないことが、統計的にはズバリですね。ほら、やっぱりアルコールって良くな…」

アスカ「さっ！今から行くわよ、ポーネンカイ。忘れなきゃならないこと、いっぱいあるからさ。ちゃんと最後まで付き合いなさいよ！」

タケシ「あ、は、は…。誰か、幹事変わってくださいよ～」

----- (つづく) -----